

吹き渡る涼風や虫の合唱に秋の深まりを感じる時節となりました。平成25年度も後半です。各校では、前期の成果と課題を振り返り、後期の学校生活をさらに向上させようと意欲をもたれているものと思います。

9月の電話相談・来室相談から ～ 教師と保護者の共通理解・指導を ～

子どもの成長過程の中で“乱暴な振る舞い”や“器物破損”等の問題行動があると、忙しさも手伝ってとかく表面的な指導で終わりがちですが、背景にそうした行動をとってしまう理由がある訳ですので、私たちは、**どうしてそうした行動をとったのかを深く考えてみる必要があります。**周囲の子どもからの聞き取りだけで対応したことが原因で、被害者を加害者にしてしまうことや乱暴者のレッテルを貼ってしまう例もあるようです。

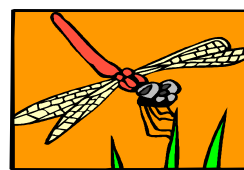
人間関係づくりの苦手な子どもや発達障がいを持つ児童生徒にとって、学校での集団生活は大きなストレスになっていることは想像に難くありません。

9月の電話相談の中で、家庭では素直でいい子なのにと前置きをして、話をはじめた保護者の方の相談のケースです。学校でものを壊したからと呼び出しを受け、出向くと「家庭の教育に問題がある」と言わんばかりの言い方をされ、これまでそうした指摘をされていなかっただけに、一方的に家庭の所為にされたようで悔しい思いをしたとの相談内容でした。保護者からみると学校は敷居が高く、呼び出しを受けるということは、相当な緊張感を持つものです。

ここで理解しておきたいことは、子どもは学校と家庭で見せる姿が異なるということです。**教師も保護者も自分の見ている姿が全て正しいと思いつくと対応を誤ることになります。対応を間違われた子どもはとても不幸です。**

子育てで悩んでいる保護者には歩み寄りが必要なのに、「母親の愛情不足や問題児」として片付けられたのでは身の置き所もありません。ただ、保護者の方も冷静に家庭教育について振り返ることも大切です。

「分からなかったことを分かるようにする」「出来なかったことを出来るようにする」のが学校である一方、善悪の判断や公共物の利用については、家庭教育の役割なのでしょう。学校（教師）と家庭双方が互いの役割分担に対する共通理解を図って指導にあたり、共に子どもの成長を確かめられる関係を築きたいものです。



<リスタートクラス> ～ 待合室 ～

月曜日午前中、市民プラザの創作実習室をお借りして、リスタートクラスは開かれています。特に時間厳守というわけでも、必ず出席するよという感じでもありません。久々に顔を見せた人に対しても、「おひさしぶり」といった声がけは担当相談員以外誰もしません。「えっ、久しぶりとかないの？」と言うと、「あ～、そうね」といった感じで、かなりゆる～い雰囲気です。中には、そんな場が持たないような状況が苦手という人もたまにいます。



以前も「今、ここから」で書きましたがリスタートクラスは**“バスの待合室のようなもの”**と感じています。行き先はそれぞれ違い、自分が乗るべきバスが来たら乗車して目的地へ向う。待合室で居合わせた人たちと、一定の距離を保ちながらその時間を共有し、ちょっとホッとします。そんな一時が、次の行き先に向うパワーになるということもあるようです。

<適応指導教室> (シャイニングの活動)

～ 実りの秋 ～

「秋」で思い浮かべるのはどんな風情ですか。シャイニングでは「学びの秋」を意識したい9月でしたが、月曜日の祝日が2回あり、学習する日数が少ない月でした。各教科3～4回の学習でしたが、集中している姿に秋を感じます。そんな中、夏休みの宿題はもちろん毎回のように出る宿題に対する意識は少しずつ高まってきていて、嬉しく思っています。始めの頃は夏休みと同じように暑い日々でしたが、施設の計らいでクーラーが効いた部屋で楽しく進めることができました。ありがとうございます。

5日には「ミシンで雑巾縫い」を行いました。ミシンを使った経験はあまりないので自信がなさそうなふたりでした。だんだん慣れるにつれて、規則的で軽快な音とともに雑巾の枚数が増えていきました。糸を通すこともだんだん早くなりました。

20日のわくわく新庄の防災訓練に参加する機会がありました。館内の放送をしっかりと聴いてから指示通りに駐車場に避難し、その後の消火器を使っての訓練（初体験）にも参加しました。実際に体験したくはないことですが、いつ起こるか分からない災害に備えなければならないと思いました。

26日には春に植えた「サツマイモの収穫・販売」をしました。約25kgもの収量があり、収穫物は庁内を回り、販売しました。**この活動を通して、多くの方々への感謝の心を育みました。**

30日朝に中学校生活の半分が終了したことを話しましたが、なかなか実感が伴わないようでした。学校への復帰の難しさを改めて感じました。

東京オリンピック（9月8日に決定）が開催される2020年には果たしてどんな世の中になっているのでしょうか。その頃、二人は何をしているのでしょうか。とても楽しみです。



サツマイモの総収穫量は約25kg



市民課の方にも購入していただきました

「気楽に話し合う会」は **10月18日(金)**
19:00～21:00 **会場：わくわく新庄**

10月の活動

在籍 シャイニングクラス 3名
リスタートクラス 6名

シャイニングクラス	リスタートクラス
○月曜日 理科、数学	○月曜日 自主活動
○水曜日 国語(理)、英語	○木曜日 体験活動
○金曜日 社会(国)、体育	
○木曜日 体験活動(月2回)	

◆ 体験学習 ⑫ 10月10日(木)
サトイモの収穫・販売

◆ 体験学習 ⑬ 10月17日(木)
いも煮



あ と が き

今年度も上半期が終了しました。この間の反省と今後に向けた対策などが話し合われた部署も多かったことと思います。当室にも、意外に多くの相談が持ち込まれました。が、相談者の気持ちに寄り添うことができたかどうか、また的確なアドバイスができたかどうか自信のないところです。

来年度小学校へ入学予定のお子さんたちの就学時健診も、先月終了しました。元気で純真な317名のみんなのパワーを力に、下半期良き相談員として業務に専念していきたいと思っています。

教育相談室担当者

○ダイヤルなんでも相談 鈴木
TEL 23-7266
○適応指導教室(シャイニング) 林・小野
○青少年の自立支援(リスタート) 菖蒲
TEL 22-2111
(内線 445、448)